教育目標　すくすく　ぐんぐん　にこにこ

令和５年１１月３０日
第５４７号
北区立じゅうじょうなかはら幼稚園

園長　髙沢　ゆみか

「はぐ」の効果

園庭のアンズやモミジの葉が日に日に色付き、風にくるくると舞う落ち葉を子どもたちが歓声をあげながら追っている姿に、季節の移り変わりを感じています。

本園では、子どもたちがおうちの方とぎゅっと「抱っこ（ハグ）」をしている写真『はぐフォト』を季節ごとに撮らせていただき、全員の写真を園内のコーナーに飾っています。保護者の皆様には、毎回ご協力をいただき、ありがとうございます。

子どもたちは、日々『はぐフォト』コーナーの前を通ると、自分とおうちの人の写真を確認したり、友達と一緒にうれしそうに写真を見て、話をしたりしています。また、年度当初には、入園したばかりでおうちの方と離れて過ごすことに寂しくなった子が、おうちの方が写っている写真を見て、気持ちを切り替えることもしばしばあります。子どもたちにとっては、この写真コーナーが園にいる間もおうちの方とのつながりを感じられる空間になっているのです。

ここ数日、赤く色付き始めたモミジの木の前で数組ずつ『はぐフォト』の撮影をしています。頬と頬をきゅっと寄せ合い、親子で抱き合って写真を撮っているときの表情は幸福感に満ちあふれていて、見ているこちらもとても幸せな気持ちにさせてもらっています。子どもにとって、おうちの人や大好きな人にぎゅっと包まれる瞬間は、この上なく幸せで安心できる時間です。この濃密な時間に満たされる「自分は大丈夫！」という心のエネルギーは、子どもが自分で外の世界に向かって行く力になります。一方で、実は大人も、子どもを抱っこしたときの柔らかくて温かい頬や体の感触に、幸せな気持ちになり、癒やされているものです。

愛しい我が子と頬と頬を寄せ合い抱きしめる機会は、子どもの成長に伴って徐々に少なくなっていきます。夢中で子育てをしているときには気付きにくいものですが、親が子を温かく包み、守ることを通して、親の方も子どもに大いに癒やされたり、幸福感を味わったり、子どもの存在に大きく勇気づけられたりしています。私も自分の子育てを振り返ると、我が子を抱きしめたときの気持ちは、親にとっても人生の中のほんの短い期間しか味わうことのできない、かけがえのないものだったと感じています。

年末に向けて何かと気忙しくなる時期となりましたが、日常のほんのひとときでも、お子さんと向かい合ったり、膝に乗せたりしながら、ぎゅっと「はぐ」をする時間をもってみてください。親子で心も体もぽかぽかと温まり、さらに前向きなエネルギーや優しく穏やかな気持ちが自然と湧いてくることと思います。

これから寒さも本番を迎えます。この一年の皆様からのご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。保護者、地域の皆様におかれましても、お体に気を付けてよいお年を迎えられますようお祈りしております。

今月の指導のねらい

＜ちゅうりっぷ組＞
- 自分の思いを言葉や動きで表したり、友達や教師に伝えたりしながら、それを実現することや、繰り返し取り組むことを楽しむ。
- 学級のみんなでする活動を楽しみにし、自分から取り組もうとする。

＜さくら組＞
- 自分なりの目的をもち、遊びや活動に取り組み、繰り返し挑戦する楽しさや、できるようになるうれしさを感じる。
- 学級やグループの課題を自分なりに受け止め、考えたり協力したりしながら、友達と一緒にやり遂げようとする。